

平成18年12月13日

兵庫県知事 井戸 敏三 様

公共事業等審査会
会長 朝日 稔

公共事業等審査会の審査結果について

公共事業等審査会（以下「本審査会」という。）は、兵庫県知事から、平成18年10月12日に審査依頼を受けた兵庫県の投資事業評価要綱第2条第1号の新規事業に係る審議案件2件及び同第2条第2号の継続事業に係る審議案件6件の合わせて8件について、慎重に審議を行った。

その結果、新規事業2件については「新規着手」することが妥当、継続事業6件については「継続」することが妥当と判断した。

事業の実施にあたっては、下記に記載した本審査会の意見を十分に尊重し、特に、個別事業毎に付記した審査結果に留意のうえ効果的で効率的な公共事業の推進に努められたい。

また、昨年度までに完了した事業のうち代表事例2件について事後評価の報告を受けたので、これに対する意見を付記する。

記

審査全般を通じた共通意見

- 1 地方分権改革が進むなかで、全国一律の地方行政からの脱却を図り、県の担う役割を適切に果たしていくために、社会基盤整備においても、地域特性を踏まえた“兵庫らしい”事業の展開が求められる。また、公共事業予算の縮減と、社会基盤施設の大量更新時代の到来を前に施設を新たに「つくる」だけでなく有効に「つかう」ことを前提とした、成熟社会にふさわしい社会基盤整備が求められている。このため、社会基盤整備に関する事業の実施に際しては、広く地域づくり、まちづくりの観点から、その必要性、効果等について評価するよう努められたい。
- 2 事業実施に際しては、社会・経済情勢の変化、及びこれに伴う価値観の転換等を反映していくことが求められる。このほか現地条件の変化等も含め、計画見直しの必要が生じた場合には速やかに事業計画の変更を行うよう努められたい。なお、今回いくつかの事業は計画を見直し、事業費の縮減等が図られていたことは評価できる。
- 3 長期化した事業については、その理由や経緯を十分吟味し、その内容や結果を今後の事業計画及び事業実施に生かしていくことにより、効率的な事業の推進に努められたい。

- 4 今後の審査に資するため、評価に関する資料やデータの蓄積を進め、データベース化に心がけられたい。また、事業の説明責任を果たすという観点から、これを県民に広く公開するよう努められたい。

個別案件の審査結果について

【継続事業】

1 海岸事業

(1) 津居山港海岸環境整備事業（豊岡市）

本事業は、気比の浜海水浴場の海岸侵食を防止し、恵まれた自然環境を活かした海洋性レクリエーション空間の創出を図るものである。観光利用及び気象条件により工事期間が限定されるため、事業が長期化しているが、この間の社会経済情勢の変化や自然環境の保全に対する社会全体の意識の変化を踏まえ、地域住民や海岸利用者の意見を取り入れて護岸等の人工構造物を減らすなど、計画の見直しを行いながら事業が進められている。過疎化の進むなか、当該地域における重要な観光資源として地域活性化にも寄与する事業であり、事業継続は妥当である。

なお、引き続き養浜効果等の観察を行い、効率的・効果的な事業執行に努められたい。

2 街路事業

(2) 園田西武庫線（尼崎市）

本事業は、尼崎市北部における東西幹線道路として、都市間における交通の円滑化と都市機能の充実を図り、周辺道路の交通渋滞の解消を図るものである。また、本事業は、工場群による地域の分断を解消し、駅や公共施設へのアクセス性を向上させるなど、まちづくりを進める上でも重要な路線の整備であり、事業継続は妥当である。

なお、本事業の実施に伴い、工場内私道の主要部分が公道化されるため、関係企業とその機能回復について協議が重ねられてきたが、このほど基本的な合意に達したので、当該工場内私道を含む用地取得を推進するとともに、早期の事業完了を図られたい。

3 優良建築物等整備事業

(3) 高司地区（宝塚市）

本事業は、阪神・淡路大震災によって半壊したマンションを除却し再建するものである。敷地外周部にオープンスペースや緑地を設けるなど、都市環境の向上を図りつつ再建する計画であり、被災住民の一刻も早い生活再建への支援として必要と認められるため、事業継続は妥当である。

4 道路事業

(4) 道路整備事業 一般県道竜泉那波線（相生市）

本事業は、国道2号と国道250号を南北に結ぶ新設路線の整備である。播磨科学公園都市と相生市臨海部、赤穂市を直結することで産業基盤の強化・充実を図るとともに、相生市中心市街地等における渋滞、交通事故等の課題解消を図るなど西播磨地域の幹線道路ネットワークの充実を図るものであり、事業継続は妥当である。

なお、用地買収が9割を超える進捗度となっていることから、早期完成による事業効果の発現に努められたい。

5 ほ場整備事業

(5) 下内膳地区（洲本市）

本事業は、ほ場整備による農地の区画形質の改善、用排水路、農道などの整備を行い、農業生産性を向上させることにより効率的・安定的な農業経営の確立を図るものであり、事業継続は妥当である。

6 漁港漁村整備事業

(6) 富島漁港（淡路市）

本事業は、地域の基幹産業であるのり養殖等の基地として漁港機能の強化を図るものである。平成13年度の再評価後、旅客数の減少を踏まえて定期旅客船発着場の移設を取りやめるなど、既存施設の活用、事業規模の縮小等の計画見直しを行いながら事業が進められている。新たに高潮対策事業として防潮施設の整備を行う必要が生じ、その事業との調整に時間を要したことにより、事業完成が1年遅れることとなったが、安全かつ円滑な漁業活動に資するものであり、事業継続は妥当である。

なお、事業効果発現のため、早期に事業完了するよう努められたい。

【新規事業】

7 優良建築物等整備事業

(7) 加古川駅南西地区（Cブロック）（加古川市）

加古川駅の南西に位置する当地区は、老朽化した低層木造建築物が密集している地区であることから、加古川市が地域住民や地元商業者、学識者等の意見をふまえて策定した「加古川駅南西地区整備構想」や「加古川市中心市街地活性化基本計画（H11.3）」等の中で、その再生・整備が位置づけられている。

本事業は、敷地を統合して不燃化共同建築物を建て、オープンスペースを整備することで地域の防災性を高めるものである。また、都市計画道路篠原西線の用地が確保されること、沿道に店舗を設置することにより駅周辺の回遊性が高まること等の良好な効果も期待されることから、事業着手は妥当である。

なお、本地区は今後の加古川駅南西地区のまちづくりを先導するものであるため、事業内容やまちづくりの取り組みについて地域住民への情報提供に努めるよう、また、良好な市街地形成に資する事業となるよう、加古川市及び事業者に対し適切な助言を行なわれない。

8 河川事業

(8) 市川水系振古川（市川町）

本河川は、現況流下断面が計画断面の半分程度しかなく、中規模の出水でも浸水被害が発生する状況にある。

本事業は、築堤や河床掘削などにより当該地域の治水安全度を向上させ、地域住民の安全・安心を確保するものであり、事業着手は妥当である。

事後評価の報告について

昨年度までに完了した事業の2事例に対し、県が行った事後評価について、意見交換を行った。以下にその概要を記載する。

なお、今後も、適正な評価、判断を行う上で必要となる各種データや資料のデータベース化に努めるとともに、事前・事後の評価のあり方に資するよう評価項目の選定や評価指標の整備も含めた評価方法の充実を図られたい。

(1) 街路事業 尼崎港川西線外3線（尼崎市・伊丹市・川西市）

本事業は、尼崎市の臨海地域から伊丹市を経て川西市へと至る南北主要幹線道路において慢性的な交通渋滞の解消、歩行者等の安全性の向上などを目的に実施されたものである。

年々、路線交通量が増加するなか、所要時間の短縮や事故率の減少など、交通の円滑化や安全性の向上が確認され、当初期待された事業の効果は発現されているものと判断できる。

なお、街路整備は、沿線地域において市街地の更新を誘導することになるため、今後の同種事業実施にあたっては、沿道の街並み景観の形成についても勘案するよう期待する。

また、現地調査での所見として、市域が変わると歩道等の幅員が変わっていることに違和感を覚えた。それぞれその時代の構造基準を適用しているため、都市計画決定された時期で幅員が異なっていると考えられるが、このような場合であっても、歩道の連続性や歩道内における自転車交通と歩行者の分離など、より安全・快適で、質の高い歩道空間が創出されることを期待する。

(2) 公園事業 一庫公園（川西市）

本公園は、知明山ダム湖周辺の良好な自然環境を保全し、「自然と人の出会いの場」をテーマとした環境学習や広域レクリエーションの場を提供することを目的に整備されたものである。

年間来園者数が16万人を超えており、公園資源を活用した住民の自主企画運営プログラムも充実してきていることから、環境学習の場としても定着してきたものと考えられる。

また、この地域は平成16年、環境省による「里地里山保全再生モデル事業地域」の指定を受け、環境学習機能を担う本公園の魅力が高まるとともに、園内では、放置クヌギ林の再生や間歩跡（鉱石採掘跡）炭焼窯跡の保存活用など、住民主体による地域風土の維持活動にも発展しており、当初期待された事業効果は発現されていると判断できる。

なお、今後とも、より一層の活用を進めるため、平日来園者を増やす工夫や公共交通機関の利用増進策などの取り組みを期待する。